

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0592

(注)本稿は 2023 年 12 月 18 日から 21 日まで 3 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2023.12.22

前田 高行

## インドが中国を追い抜き世界一の人口大国に:世界と中東主要国の人口・出生率・平均寿命 (世界ランクシリーズその1)

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第1回のランキングは国連人口基金(UNFPA)発行の「世界人口白書2023」のデータにより各国の人口・出生率・平均余命等について比較した。

世界人口白書(日本語版)の URL:

[https://tokyo.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/shi\\_jie\\_ren\\_kou\\_bai\\_shu\\_2023\\_quan\\_ye\\_230712\\_wan\\_cheng\\_ban.pdf](https://tokyo.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/shi_jie_ren_kou_bai_shu_2023_quan_ye_230712_wan_cheng_ban.pdf)

(世界総人口 80 億人、インドと中国が 14 億人で世界 1 位と 2 位を分け合う！)

### 1. 世界の総人口と主要国の人口(末尾表 1-T01 参照)

国連人口基金(UNFPA)によれば2023年の世界の総人口は80億4,500万人である。最も人口が多いのはインドの14億2,900万人、ついで中国が14億2,600万人であり、人口が10億人を超えるのはこの2か国だけである。インドは昨年まで中国に次ぐ世界2位であったが、今回初めて世界一となった。両国の世界人口に占める比率は各々18%弱であり、全人類の5人のうち2人がインド人または中国人ということになる。

中印2か国に次ぎ世界3位の人口を有するのは米国で、同国の人口は3億4千万人に達する。4位のインドネシアからパキスタン、ナイジェリア及び7位のブラジルまでは人口が2億人を超えている。その後10位まではバングラデシュ、ロシア及びメキシコの順であり、これら10か国を合わせると世界人口の57%を占める。日本はエチオピアに次いで世界12位であり、人口は1億2,300万人である。このほか人口が1億人を超えているのはフィリピン、エジプト及びコンゴである。

中東で人口が最も多いのはエジプトである。同国の人口は1億1,300万人であるが中東で人口

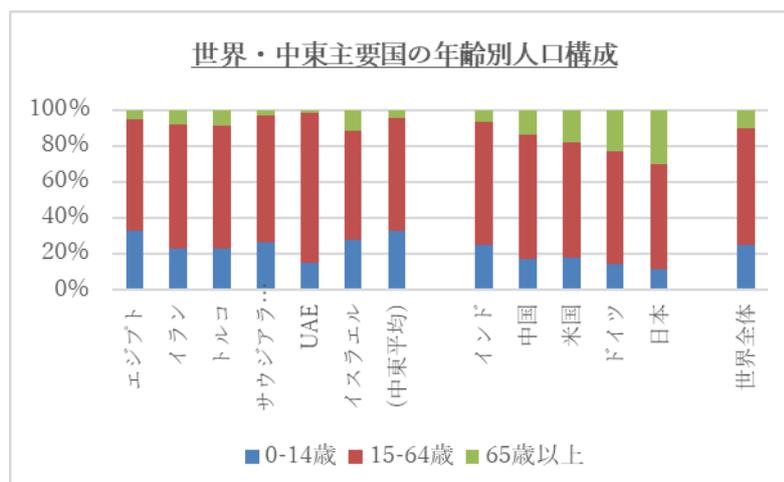
が1億人を超えるのはエジプトだけである。エジプトに次いで多いのはイランの8,900万人、これに次ぐのがトルコの8,600万人であり、世界17位及び18位である。

湾岸の石油大国であるサウジアラビアの人口は3,700万人、UAEは950万人であり、因みに天然ガス大国のカタールの人口は270万人とされている。但しこれらの数値には出稼ぎの外国人労働者が含まれており、特にカタールは全人口の7乃至8割を外国人が占めている。またサウジアラビアには1千万人以上、またUAEにも数百万人の外国人が住んでおり、実際の自国民の数はかなり少ないことに注意する必要がある。

因みに現在ガザ地区の戦争に揺れるイスラエルの人口は540万人であり、パレスチナ自治区の人口はその半数の270万人である。イスラエル人口にはアラブ系パレスチナ人がかなり含まれており、イスラエルとパレスチナをユダヤ人とアラブ人の民族比率で見ると、ユ人がわずかにアラブ人を上回る状態である<sup>1</sup>。

(中東は15歳未満が3割、日本は65歳以上が3割！)

## 2. 年齢別人口構成



人口を(1)0-14歳(若年層)、(2)15-64歳(青・壮年層)及び(3)65歳以上(老年層)に分けた年齢別人口構成で見ると、全世界(80億人)の平均は若年層が25%、青・壮年層は65%、老年層10%である。人口が世界で最も多いインドはそれぞれ(1)25%、(2)68%、(3)7%であり、若年層は世界平均である一方、青・壮年層の割合が高く、老年層の割合は低い。

米国の場合、年齢別人口構成は、(1)18%、(2)65%、(3)18%と、青・壮年層の割合は世界平均と同じであるが、若年層は少ない一方、老年層の割合がかなり大きい。

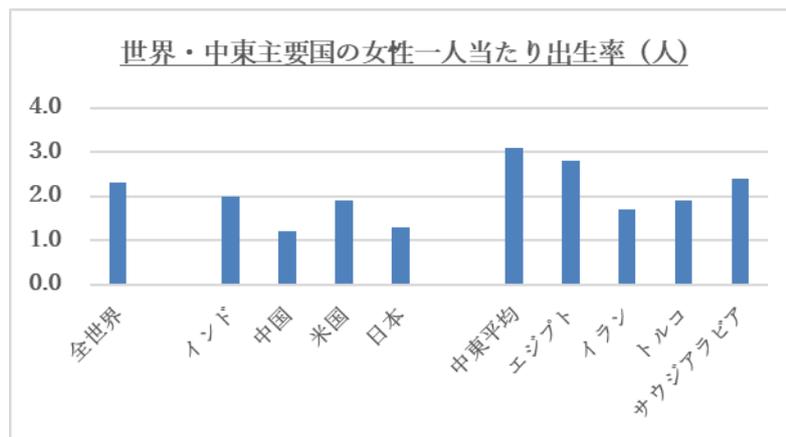
日本は若年層が全人口の11%であり、世界平均の半分以下である一方、65歳以上の老年層は世界平均の3倍の30%を占めている。UNDPの資料によれば老年層が人口の30%に達する国は世界で日本だけであり、日本に次いで高いイタリア(24%)に比べて突出している。

中東諸国は一般に0-14歳の若年層の割合が高く、65歳以上の老年層が少ないのが特徴である。中東全域の平均は若年層33%、青・壮年層63%、老年層5%であり、世界平均の年齢構成とはかなり異なっている。国別に見るとエジプトは中東平均とほぼ同じ構成であり、イラン及びトルコは世界平均に近い構成比率である。

産油国のサウジアラビアは若年層26%、青・壮年層71%、老年層3%であり、青・壮年層の割合が高い。同じ産油国の UAE の場合は、若年層は日本とほぼ同じ15%であるが、老年層は全人口の2%にとどまり、青・壮年層の割合(83%)が極めて高い。前節に述べた通りこれら湾岸産油国には出稼ぎ外国人が多く、当然のことながら彼等外国人は青・壮年層に属する。そのため青・壮年層の割合が非常に多い結果となっている。

(低い中国の出生率、意外と高い米国！)

### 3. 出生率



出生率(女性一人当たりの合計出生率)の世界平均は2.3人である。この数値は経済圏によって異なり、先進地域は世界平均を大きく下回る1.5人に対し、開発途上地域は2.4人、後発開発途上地域の場合は3.9人である。

また地理的区分で見るとアジア・太平洋地域の出生率は世界平均を下回る1.9人である一方、中東地域は世界平均を上回る3.1人である。アフリカ地域はさらに高く、特に西・中央アフリカ地域の出生率は世界平均を2倍以上上回る4.8人に達している。

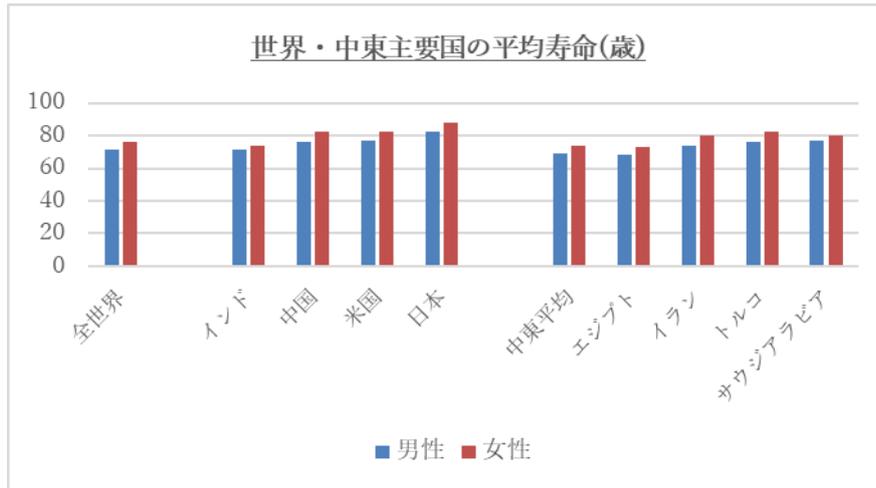
日米中印の4カ国を比較すると、出生率が最も低いのは中国の1.2人であり、日本はこれに続く1.3人といずれも世界平均を大きく下回っている。中国の場合は一人っ子政策と言われる政策の要因が強く影響しているものと考えられる。インドと米国の出生率はそれぞれ2.0人、1.7人であり、世界平均を下回っているものの、日中2か国に比べかなり高い。

中東の三大国を見るとエジプトは2.8人であり、イランは1.7人、トルコは1.9人である。イラン及びトルコは社会的或いは政策的な抑制策が効いているように見受けられる。産油国のサウジアラビアの出生率は2.4人、UAE は1.4人である。UAE は一人当たりの所得がサウジアラビアを上回っており、国民の生活水準が高いことが出生率の低下を招いていると言えそうである。

(男女とも世界平均を10歳以上上回る日本の平均寿命！)

### 4. 主要国の平均寿命

世界の平均寿命は男性71歳、女性76歳で共に70歳を超えている。日本の平均寿命は世界平均を大きく上回り男性82歳、女性88歳であるが、男女ともに世界の平均寿命を10歳以上上回っているのは日本だけである。



いずれの国も女性の平均寿命が男性のそれを上回っている。また女性の平均寿命が80歳を超える国は珍しくなく、日本のほか中国、米国は82歳であり、中東でもトルコ(82歳)、イラン、サウジアラビア(共に80歳)である。

これに対して男性の平均寿命はいずれの国でも女性のそれを5～6歳下回っている。日本のように男性の平均寿命が80歳を超える国は、ドイツ、フランス、イタリア、カナダなど西欧先進国に多い。インドの平均寿命は男性71歳、女性74歳でほぼ世界平均に近い。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

## 世界・中東主要国の人口指標

順位	国名	人口	年齢別人口構成			女性一人 当たりの 合計出生 率(人)	平均寿命(歳)	
		万人	0-14 歳 (%)	15-64 歳 (%)	65 歳以 上(%)		男	女
	<b>全世界</b>	<b>804,500</b>	<b>25%</b>	<b>65%</b>	<b>10%</b>	2.3	71	76
1	インド	142,863	25%	68%	7%	2.0	71	74
2	中国	142,567	17%	69%	14%	1.2	76	82
3	米国	34,000	18%	65%	18%	1.7	77	82
4	インドネシア	27,753	25%	68%	7%	2.1	69	73
5	パキスタン	24,049	36%	60%	4%	3.3	65	70
9	ロシア	14,444	18%	66%	16%	1.5	70	79
12	日本	12,329	11%	58%	30%	1.3	82	88
19	ドイツ	8,329	14%	63%	23%	1.5	80	84
	(中東主要国)							
-	(中東全域)	46,800	33%	63%	5%	3.1	69	74
14	エジプト	11,272	33%	62%	5%	2.8	68	73
17	イラン	8,917	23%	69%	8%	1.7	74	80
18	トルコ	8,582	23%	68%	9%	1.9	76	82
40	サウジアラビア	3,695	26%	71%	3%	2.4	77	80
96	UAE	952	15%	83%	2%	1.4	79	83
98	イスラエル	917	28%	60%	12%	2.9	82	85
143	カタール	272	16%	83%	2%	1.8	81	83

Source: State of World Population 2023, UNFPA(国連人口基金)

<sup>1</sup> 拙稿「[世界のユダヤ人とムスリム\(イスラム教徒\)の人口を比較すれば](#)」(2023年11月)参照。